# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第六號（其ノ四）京城中學校學則左ノ通定ム

第六章 授業料

第二十六條 授業料ハ一人一箇月ニ付金三圓トス

第二十七條 授業料ハ毎月始業ノ日ヨリ五日以内ニ徴收ス該期日後ニ入學シタル者ハ其ノ當日之ヲ徴收ス

第二十八條 夏季休業又ハ學校ノ都合ニ依リ全月休業スルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徴收セス

第二十九條 授業料ハ生徒疾病其ノ他ノ事情ニ依リ全月缺席又ハ其ノ月半途ニシテ退學スルモ之ヲ免除シ又ハ返附セス

第三十條 期日ニ於テ授業料ヲ納附セサル者ハ滯納中昇校ヲ禁スルコトアルヘシ

第七章 成績査定

第三十一條 試驗ヲ分チテ學期試驗及學年試驗ノ二種トス

第三十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學年ノ本業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十三條 最終學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ左ノ書式ニ依リ卒業證書ヲ與フ

卒業證書

族籍

氏名

生年月日

本校規定ノ第一部（第二部）ノ學科ヲ卒業セリ仍テ之ヲ證ス

年月日

校印

京城居留民團立京城中學校長 氏名印

第八章 補則

第三十四條 本則施行ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定ム

學科課程及毎週教授時數配當表

| 學年 | 學期 | 修身 | 國語及漢文 | 英語 | 歷史 | 地理 | 數學 | 博物 | 物理及化學 | 法制及經濟 | 圖畫 | 体操 | 韓語 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第一學年 | 第一學期 第二學期 第三學期 | 道德ノ要旨 一 | 講讀、文法、作文、習字 七 | 發音、綴字、讀方、譯解、會話、書取、習字 六 | 日本歷史 一 | 日本 二／同上 二／日本・滿韓 二 | 算術 四 | 鑛物 二 | | | 自在畫 二 | 普通体操・兵式体操 三 | 韓語 一 | 二八／二九 |
| 第二學年 | 第一學期 第二學期 第三學期 | 同上 一 | 同上 同上 七 | 讀本、譯解、會話、作文、書取 六 | 日本歷史・韓國歷史 二 | 滿韓・外國 二 | 算術・代數 四 | 植物 二 | | | 自在畫・用器畫 二 | 同上 同上 三 | 同上 二 | 二九／三一 |
| 第三學年 | 第一學期 第二學期 第三學期 | 同上 一 | 同上 同上 七 | 同上 同上 文法 七 | 東洋歷史 二 | 外國地理 一 | 幾何・代數 四 | 生理及衛生 二／動物 二 | | | 同上 同上 二 | 同上 同上 三 | 同上 二 | 二九／三一 |

備考 韓語ハ隨意科トス

## 東拓人物評論（四）

▲宇佐川總裁▼（三） 翠山

自己の至誠と赤心とを吐露して他の腹中に措き以て共々人を感動せしむ蓋し亦事高朗、性情醇潔の人に非ざれば焉ぞ克く斯く爲すを得んや男が沈相薰をして日本に對する疑惑の念を氷解せしめ同時に席に在りし金允植をして泣て男の好意と懇情とを謝せしめたる如きは之れ言ふ迄もなく男の人物の高朗醇潔なるに歸せずんば非ず、蓋し當時世人が男を目して好個行政家なりと稱嘆せしも亦偶然に非ざるなり。

顧つて漸次露國の勢力はウエバー氏の怪腕妖才に依りて益々旺盛となり且つ親露派内閣成りて、今は漸く日本に對して其の惡むべき鋒鋩を現はし來り而已ならず動もすれば恬然何の憚る所もなく日本の政策を妨害し並に方針を阻止し眼中殆んど日本を措かざるが如き態度を現はし來りたるを以て男は心私かに憤慨の念に堪へず機もめらば露國の恣睢横暴を鳴らさんと思ひつゝあり し際、韓政府はいつして兵士訓練の重任を露國に托し、號令行軍悉く露國の兵法に倣ふに至りたるを以て男は益々露國の跋扈を憤り併せて韓政府の愚昧なるを憐みしが終には露國の兵士訓練が普通の例に於ける訓練に非ず全然軍隊の權利を奪ふが如き行爲を敢てし皇室の護衛大官の送迎又は公式の列伍等に當りて露國將校直接に之を指揮號令し、韓國の將校は有れども無きが如きの奇觀を呈せしより、男は心中寧ろ異樣の感を抱き、或る日時の軍相李允用（沈相薰、趙義淵の後）を訪ひ以て其の非を諫めんとしたりしに李は如何なる差間へありてか將た男に面晤するを好まざりしか不在と稱し男をして空しく引き歸らしめたりしが男は如何にしても一度びは交際諫言するの必要あるを認め、其の後往訪終に三回に及びたりしも李は容易に男を延かず、爲めに男も一時望を失し何れの日か機の到るを待ちつゝありし中思ひ掛けなくも或る日李は飄然として男の官邸に訪ね來り男に面晤を求むるより男は欣然として李を迎ね、人なき一室に請じて徐ろに兵士訓練の状態を說き且つ韓國が露國に倚依信頼して露國式兵法に據らしむるは別に不可とする所なきも唯皇室の護衛、大官の送迎、公式の列伍等に當りて直接露國將校の指揮號令に待つは列國に對して恥辱此の上なきのみならず、獨立國としての体面と威信とに拘はるもの多きを以て爾來は唯に訓練のみに留め此等の見苦しき方針は斷然廢絶するの可なるべきと併せて日本政府の意嚮と方針とを諄々として述べたりしに李は默然として暫時首をたれ居りしが幾干もなくして肅然として襟を正し同時に滿面感謝の色を表はし慇懃に男の異情を謝し、將來は一事一變男の意見と援助とに從ひて事を處する旨を誓ひたりき、而して之より男の勢力は漸く韓人の間に重きを加へ人望聲與共に翕然として男の一身に集るに至りぬ。

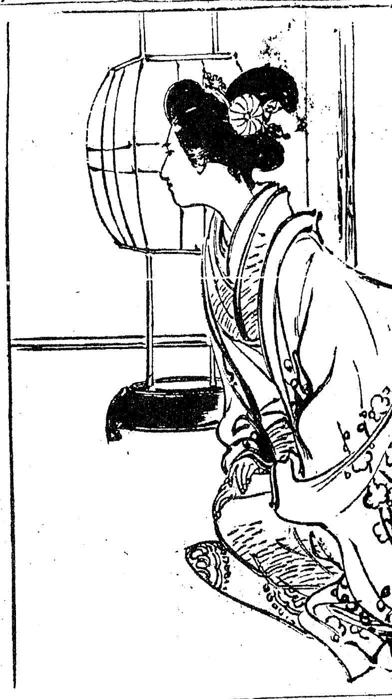
二十九年春公使小村氏任を辭して日本に歸ると共に之と交代して原敬氏新に其の後を襲ふや男は依然として其の職に留り克く原氏を援けて違算なからしめたりしが唯如何なる爲めか男と原氏とは心中相容れず爲に男は幾干もなくして其の職を辭し日本に歸りて元の古巢に舞ひ戻りぬ、而して男去るの時韓人の惜別頗る甚だしく恰かも骨肉に別るゝの觀ありたり。

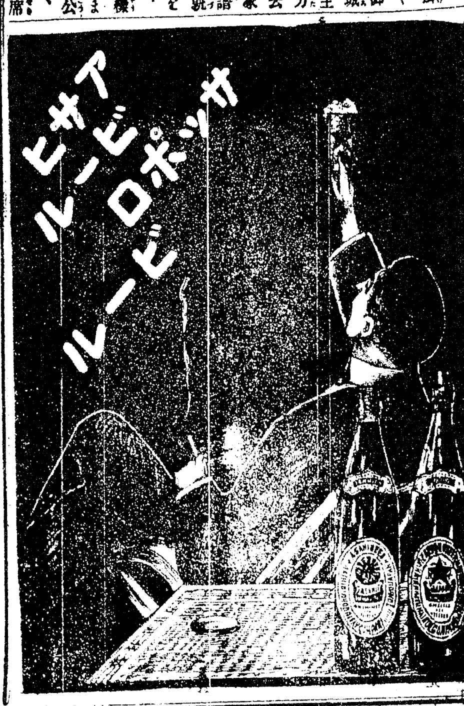


## 佐倉宗吾

（五十二） 眞龍齋貞水講演

先づ子供を躾けるに、家庭の大切なる事は申す迄もございませぬが、中にも御武家の家庭と來ては、隨分やかましい、武家の子供などは、幼小い時から惡い事を仕合つてれ前が惡いから謝つてれしまへ、斯う云ふ、それから謝つたら、腹を切れなんど云ふ斯う云ふ風に、子供の遊びの内から、惡い事があつたら、腹を切らなければならぬといふ事が、頭に染込んで居りますから自然成人すると、惡い事があつたら申し分けのために、腹を切らなければ成らぬものと、知らず識らずの内に教育されるのでございます、ですから教育は武士的でなければ成らぬ、然るに中には實業家は、武士的教育を受けるに及ばぬなどと仰つしやる方もありますけれども、實業家でも、武士的教育が頭に入つたならば、惡い事は爲ない、外國へ出した物で、突返されるやうな事はない、この武士的教育は、日本の特有にして、萬劫末代、捨つべきものでない、堀田大和殿に於きましては、斯りや子供の事でないと思召して、御譜代席の者を喚出になつたから、譜代席、頭立つた者が七八人まかり出ました、そこで大和殿が 大「唯今抱席の者から斯様な事を願ひ出たが、御抱席の者と雖ども、皆な一廉の御役を勤め居る方々、この儀に就いて譜代席の返答に依つては、長の暇でも頂かうと云ふ有樣、譜代席に於ては何と心得る、抱席の者を輕蔑するやうな事を、子供達に說ひ聽かすとは、甚だ宜しからざる育て方と思ふが如何である」と仰つしやると譜代席の者が ▲「斯は以ての外の御尋ねでござる、是まで左様な事は、一言たりとも申し聽かせし覺えはござらぬ」すると御抱席の者が ○「イヤ、覺えないとは云はせぬ、確かに云はれたに相違なし」と互に爭ひましたが、孰れも證據のない水掛論であるから、そこで大和殿が 大「斯りや双方共、控へられよ、今日御家は御領分の御政道よろしからざるより、佐倉城附六萬石の百姓總代が御籠訴に及び、主君ひと方ならず御心勞の所へ、又々各々方が、左様なる事に就いて、訴へ出づると云ふ事は、甚だ以て心得違ゐの沙汰、御當家大切と思ばされたい、以來は左様な、譜代席抱席と、區別を置くやうな事なく、孰れも忠勤を勵まれよ、等しく是れ、御祿を頂戴する、當殿様の臣下ではござらぬか、御家に忠勤を勵むの志あらば、決して斯様な區別の出づべき道理がござらぬ、今日までの事は、最早打消して、共に倶に御奉公大切に勤められよ」と御年齢は老かねが、懇々と諭されました時には、譜代席も抱席も皆な恐縮いたし「よく一同の者、許諾をならざるやう、仕る でござらう」と云つて、御詫をして引退つた、愈よ以て大和殿は御心配「ア、惡い事の重なる時には累なるものである、内外一時に斯る紛紜を生じて困つた事である、如何したら宜からうか知らぬ」と書齋に入つて御心配あうばし、寢床にも入らず、夜の更けるまで取つ措いつ御考へになりました、誠にこの宗吾が書面しは、種々込み入つて居りまして、讀者諸君には御分り惡くいございませうが、能く御讀み分けを願ひます、此方は村岡幸藏、今しも御斷に罷り出ました、この村岡は殿御氣に入りの關野事、千代と謂ふ御妾の兄に致しまして、巧言令色を以て殿に諛へる奴でございますから、關野は自分の縁を以て、兄を御取立を願ひ、彼の通り殿様へ對して、巧い事を申し上げるから、殿様は厚く御信ねに成つて、終に高祿を頂くやうには成つたが、自分の兄ながら、何うも殿様へ良くない事ばかり申し上げて困ると心配いたし、陰になり日向になり、兄に對して種々異見をする、それを又村岡が、うるさく思ひ邪魔にして居りました





京城新報

## 金融組合の増設

從來韓國に於ては地方の金融は一齊行政官たる郡守の手に委せられたり文明國より見れば實に一種不可思議に感せらるゝも未開國に於ては王者の權は只夫れ人民の財を誅求するにあり、配下の官吏は之を平和により多く誅求するを以て職分なるが如く思へるなり、韓國に於ても殆ど此觀ありて郡守は税金取立の請負者の如く、而して郡守が之をより多く取立つるには人民に對して諸種の便宜を與へざる可らず、郡守は之が爲に商買と結托し貢米の賣拂或は收穫を抵當に前金を貸與する等恰も小銀行の如き事をなし以て其地方の金融を圓滑にすると共に自巳の懐を肥したり、啻に金融のみならず運送其他の事にも便宜を與へて其間に於て自巳を利するの策に汲々たりき、畢竟するに金融と云ひ運送と云ひ皆之れ誅求に資せんが爲に計る所なりき、其心意既に自巳を中心とし毫も人民の利害を思はざれば其結果が暴政となり壓抑となるは素より其所なり、然れども有は無に優る諺の如く人民は彼等が羊皮を被れる狼の如き金融及運送等の施設によりて多少の便宜を得つゝありし也、然り地方の經濟は之が爲に維持しつゝありたるなり、然るに帝國の保護を受るに至り政治の一新せらるゝと共に郡守は單に行政官となり、其職責の判然區劃せらるゝや從來の如く税金取立請負者たるが如き事をなす能はざるに至る、斯くして郡守の手より私利の壟斷を奪ふと共に金融をも奪ひたれば地方の金融は頓に底止し物產の賣買は殆ど中止の姿となり爲に各地の物產は停滯して疲弊の極に達せり、之れ新舊過渡時代に於て免る可らざる事なり、弊害浸潤せる舊時の經濟組織を破壞して新組織を建設するには勢ひ止むを得ざる事なりとす、度支部に於ては新に地方の金融を計る爲に農工銀行出張所をして金融組合を造設せしめたり、其結果の良好なるより今更に五十箇所を増設することゝなれりと云ふ、余輩は此地方金融機關の設置は地方の經濟組織を革新して健全ならしむるに於て大なる効力あるべきを信ずるなり、然れども既に郡守の手より金融を奪ひたるの結果は甚だしく地方を疲弊せしめ居れば五六十個所に出組合を設くるも到底其欠を補ふに足らず、少くも郡守の數則ち三百有餘を設るの必要あらん、當局者に於ても漸次増設の心算ならんと雖も前に述るが如く地方經濟の狀態は最も急を要するものあれば須く此急需に應ずる爲に一日も早く各郡に一個所を設置するの方針を取るべき也、加之郡守等が權限を減せられ自巳の懐を利する能はざる爲に暴徒に通じて人民を誅求するものあり、或は虚業家に結托する者あり、人民も融杜絶の苦痛より其策に乗せらるゝ者少しとせず、金融組合の新組織にして地方人民が利便を感ずるに至らば此等の弊害も除却せらるゝに至るべし、要するに弊害多き舊組織を破壞したる上は鋭意以て新機關を建設して更に利便を與ふるに至らば保護政治の實質が極て善良なるを知らしむるに於て大なる效果あらん、之を以て余輩は此擧を贊同すると共に當局者の奮勵を望むものなり

東京電報

### ▲統監の辭意

伊藤統監は辭意漸く固く殊に井上侯の忠言に依り掛冠の意益々動き近き將來或は事實となるやも知れずと云ふ(十一日發)

外報一束

### ●獨逸と日清語

獨逸陸軍大臣は參謀本部と協議の上獨逸軍隊内に日清語の知識を擴張せんが爲め別に方案を設け多數の將校をして近日東洋語學校に入學を命じ又他の一部を日本及清國に派遣し實地に就て兩國の語學を研究せしむる事となしたる由

### ●日本煙草禁止

支那官憲は吉林にて不法にも日本煙草の販賣を禁せり依て我國は奉天總領事を經て徐總督に嚴談中なり

### ●波斯形勢暗憺

波斯の形勢は暗憺にしてタブリッツ市は砲撃を受け又革命黨はウルミャの兵器廠を占領せり

### ●女政客の柔術稽古

倫敦の女政客連は其筋の逮捕に抵抗するの目的を以て目下日本の柔術を練習し居れるが頗る顯著なる進歩を示し居れり

### ●一分間二萬弗

有名なる市俄古の小麥業者ゼームス、パッソン氏は挽麥の大取引にて十五分間に三十萬弗の利潤を得たり斯の如きは從來實に稀有のことなりと

### ●社員の日本行

タイムス社外國係主任チロ氏は多分五月中旬若くは下旬日本に赴くべしと

### ●行政權の抗議

徐東三省總督は今回更に滿鐵附屬地に於ける行政權に抗議しその撤退を迫り而も理由とする所は元露國との東清鐵道條約中其鐵道附屬地に於ける何等規定なし故に當然清國之を掌握すべきものなりといふにあり

### ●統監政治移動

伊藤統監の辭意及び桂侯の後任説傳はりてより統監府内部の暗流頗る急となり殊に拓殖との軋轢副統監と他の官吏役員との關係等より早くも任免移動の徴候を現はし來たりたれば在京中の統監府員は例年ならば未だ悠々たるべきに今年は二三日中に續々と歸任する者あり以て朝鮮政治の移動の期の近付きたるを卜するに足るべしと云へり(報知)

### ●東拓貸付決定

東洋拓殖會社金融部にては近日貸附を開始するとの事なるが同部の資金五十萬圓中約三分の二は或方面よりの下命によりて某々の向へ貸附くることに決定し居る由なれば一般申込者の希望は到底受入らるゝこと能はざるべしと云ふ

### ●昨日の閣議

昨日は閣議の定例日にて各大臣は午后一時より内閣に參集し實業學校令及び其の他の政務につき審議をなしたるが實業學校令は此の國に實業教育を盛んならしむる趣旨にて發布せんとするものにして實業學校を農業學校、商業學校、工業學校、實業補習學校、徒弟學校に別ち官公私立の學校に通じて適用するものなりと云ふ

### ●皇室債務審査會

昨十二日午後一時より度支部にて開會せり

### ●調査局の煙草試作

度支部臨時財源調査局にては大邱に於て畑草の試作を爲すべき筈にて去月二十六日其の種卸しを爲したる由なるが種類は米國葉日本葉及韓國葉にて將來は尚ほ適當の地所を擇びて盛んに米國葉を植うるの計畫にて有馬技手外雇一名目下就業中なりと

### ●舊白銅貨通用期限

韓國舊白銅貨は五月三十一日にて通用禁止となることなれば之れを所持するものは注意すべし

## 朝鮮紳士錄出版の趣意

韓半島の社會的狀態は今尚混屯として所謂破壞と建設との過渡時代なるを以て半島國民も在留外國人も皆渦中にあり從て各個人の信用程度を判別する事容易ならす然るに之か標準となるへきものなき爲に諸般の交際取引の上に圓滑を缺けるの例乏しからさるにより弊社は聊か之に稗補する所あらんとして茲に朝鮮紳士錄を編纂し豫約出版を爲す事とせり、本書に掲載する紳士は韓國に在住せらるゝ日韓清英米佛獨其他總ての國人に亘り部類は政治家軍人官公吏商業家工業家農業家醫師辯護士教育家宗教家新聞記者銀行會社教會寺院倶樂部組合各團體等社會の各階級を網羅して漏す所なし更に亦日韓職員錄を加ふ、韓國には今尚完全なる職員錄なきを以て統監府、軍司令部、師團司令部、各理事廳、鐵道管理局、通信管理局、各民團、各商業會議所及韓國政府、各國領事館の職員を列舉して特に併載することゝせり、思ふに之れ紳士錄と相待て半島經營に從事する諸君は勿論公私の實務に鞅掌せらるゝ諸君の座右缺く可らさる要書なりと信す、一面に於ては取引上の羅針盤となり一面に於ては交際社界の栞りとして將さに目下急需に應すへき要書ならん庶幾くは大方の諸君續々豫約御申込あらんことを希望す、

四月

京城新報社出版部

### ●地方費の實施準備

地方費規則の實施に要する地方費會計規則地方費豫算決算表、地方財產管理規則、地方費に關する吏員設置規定等は近日發布さる筈にして觀察使は地方費規則に定むる處に從ひ其の課目、課率、納期等同費賦課に關する規定を制し中央の認可を受くるものにして中央に於ては地方事業に要する經費の地方費支辨國費支辨の區別は觀察使より提出する豫算表によりて監督する事とせりと

### ●頌德表と感謝狀

去る十日午前漢城府民會々長俞吉濬及び各坊代表者百餘名は敦化門前に到りて韓皇の萬歲を三唱し過日の親耕に關する頌德表を捧呈せり尚同會は李首相及び趙農相へ親耕翼贊の感謝狀を贈りたりと

### ●二實業學校の經營

荒浪平次郎氏が日韓兩國政府補助の下に釜山に於て十數年來經營したる開成日語學校は今回同氏より學校を擧げて韓政府に寄附せしを以て學部は此れを引繼ぎ公立釜山實業學校とし且つ普通學校を併置し經營する事となり既に官報に告示されたるが尚學部は官立仁川日語學校も實業學校と改めて經營する筈なりといふ

### ●救世軍と地方人民

救世軍にては目下頻りに信徒の募集に熱中しつゝある由なるが其募集運動員中救世軍に入れは軍服を給與し且毎月十圓乃至十五圓の月給を支給すべしなどゝ言觸らしたるより地方韓民中に於ては勸誘に應じ信徒たらんと欲するもの實に數千人の多きに上りたる由なるが此等信徒志願者は素より眞實の信徒にあらずして利慾の爲めに身を救世軍に投せんとするものなるを以て直ちに軍本部乃至支部に就きて軍服及び月給の支給方を請求したるに始め運動員の披露したる口實と大に齟齬するものあるより皆々軍を去りつゝありと

### ●普通學校教官任用

本年師範學校速成科の卒業生二十九名講習科の卒業生三十一名及び農林學校本科卒業生の中十名は普通學校教官に任用を求め昨日學部に於て一同を會して辭令を交付したる后俵次官の訓示演說ありたり

### ●東拓重役の水原行

東拓會社總裁宇佐川氏以下各重役各課長は一昨日水原に赴き昨日本田博士の案內にて農林學校、農業模範場を視察し長林技師の養蠶談、向坂技師の米作改良談等を聞き農場の北方に在る驛屯土を調査したる後水原城內を視察して歸城せり

### ●宇佐川總裁の東上

宇佐川東拓總裁は株主總會に出席の爲め來月中旬東上すべしと

### ●仁川東拓重役歡迎

仁川有志の東洋拓殖會社歡迎會は豫報の如く再昨日午後七時より日本公園八坂樓に於いて開かれたるが來賓宇佐川總裁吉原、閔兩副總裁岩佐、林、井上、韓の四理事及趙監事、嶺秘書役長等は午前中に來り仁川信夫理事官を訪ひ旭屋旅館に休憩し午後三時より八阪樓に於て筑前琵琶等の餘興あり同七時より仁川有志數十名より成れる歡迎會に移りたるが先づ富田民長挨拶し宇佐川總裁の答詞ありたる後酒宴に移り仁川各樓藝妓の舞踏等ありて頗る盛況を極め午後九時頃散會したり

### ●東洋協會學校卒業式

東洋協會學校京城分校にては昨日午前十時より第二回卒業式を擧行したるが松井參與官、明石參謀長、澤田地方局長、李學部大臣其の他の來賓あり式初まるや校長は校務の成績を報告し石塚評議員優等賞及び卒業證書を授與したる後小松書記官石塚評議員の祝辭を代讀し李學部大臣の祝辭演說あり生徒總代答辭を述べて式を終り來賓一同に茶菓の饗應あり十一時過ぎ退去せり今回の卒業生は二十七名なり

### ●農林學校の卒業式

水原農林學校にては既報の如く去る十日午前十一時より同校堂に於て第二回卒業式を擧行したり當日の來賓は曾禰副統監以下韓國各大臣次官日韓高等官新聞記者等にして時到るや本田校長は來賓を式場に案內し同時に式に移り卒業證書を授與したる後曾禰副統監は起つて一場の訓示を爲し終るや李學相の演說あり是に對し本科及び獸醫科各生徒總代の答辭あり校長是にて閉式を告ぐるや後紀念撮影を爲し退去したるは正午を過ぐる頃なりし因に今回の卒業生は本科獸醫科共二十名なり

### ●杜國前大臣の訪問

トランスパール前國務大臣シユーレル氏は本日曾禰副統監と會見の上十四日當地出發西比利亞を經由して和蘭に赴くべしと

### ●京城副理事官新任

駐屯軍理事從七位春川泰助氏は十日付を以て理事廳副理事官に任命せられ京城理事廳檢事事務取扱を命ぜらる

### ●日本觀光團の出發

京城日報社主催の日本觀光團は一昨朝南大門驛發列車にて出發したるが各皇族大臣其の他多數日韓人の見送りあり花々しく出發せり尚附添社員は上田、奥田、湯原の三氏也

### ●中學校々長の來歷

同校長は元長崎高等商業學校長たりし隈本有尚氏に決定し本月二十日頃教頭以下三四人と共に着任すべき筈なるが氏は理科大學の出身にて曩きに福岡修猷館及び山口高學校の校長たりしことあり其後文部省視學官となり此間三年海外に遊學し歸朝の後長崎高等商業學校の校長たりしと

## ●魚附林と當局

韓國到る處の山岳は何れも裸赭して禿山となり國土保安水源涵養等の公益に關係するもののみならず人生の生活等に一大缺點を與へあることは何人も知る處なるが水產方面より之れを見れば殊に魚附林の設置を以て最大急務と爲すものにして漁業法の發布により水產繁殖を保護し又漁業獎勵を絶叫するも魚附林にして適當の施設なくば其の効果を全ふし難きなり

▲韓國沿岸に於ては從來磯近く來れる魚類も魚附林無きが爲め次第に遠海に去り又從來期待して漁獲し得んとする魚類は其の集散常ならずして漁業者は意外の損失を釀すが如き事實多く存するものなるが如きも

▲主として沿岸に樹木無きに起因するが如き狀況なるを以て魚附林と水產の干係は實に離るべからざるものなれば今后山林の經營を爲さんとするものにありては產業の保護上魚附林の設置は必ず其一に置かざるべからざるべし

▲尚保安林設置の如きも單に國有山林に止まらず民有山林に迄も此の法を及ぼし濫伐を禁止して適當の保護を與ふべき必要あるも現行法に於て是等を缺除せるは甚た遺憾の事なるを以て山林外移殖を謀ると共に又在來の繁殖を保護すべき必要あるべしとて水產當局者は將來此の方針により企劃するところあるべしと云ふ

### ●京城中學校始業式

京城中學校始業式は遲くも來る廿七八日頃迄には擧行さる可し

### ●巨智部博士送別會

農商工部の主催に係る巨智部博士の送別會は昨日午後五時より花月樓に於て開催せるが却々の盛會也し

### ●敍任辭令

(四月九日附)

宮內府書記官　井上雅二

同　津輕英麿

宮內府大臣秘書官兼書記官　多田桓

命宮內官銓衡委員

### 公人私人

▲三宅驥一(理學博士)　十一日來京天眞樓

▲木原方吉(佐賀縣水產組合技師)同上原金

▲阪上貞信(群山民團長)　同上不知火

▲向田幸藏(平南警察部長)　同上

▲原田鐵策(鎭南浦商業會議所會頭)　來京中の處十一日平壤を經て歸浦

▲大和久義郎(外務書記生)　同日釜山へ向

▲菅田度支部書記官　往復三ヶ月の豫定にて近々東上の由

▲岡崎遠光(日韓瓦斯會社專務取締)　昨朝東上す

### 近事片々

▲京城日報主催の日本觀光團一昨十一日出發せり見送人夥しく光景頗る盛なりき

▲渠等日本觀光によりて得來るものは何ぞ惟ふに東京及向島の櫻花の美耳にあらじ

▲沿道の風色連山の翠樹農業の進歩等に就ても必ずや其目を驚きて興味多からん也

▲最も渠等の吃驚に値するものは物質的進歩の光景ならん乎而も如何の感すべきや

▲宗主國として最も貴ぶ所以をも解し來るべきか觀光團主催の目的も亦是ならん乎

▲韓皇親耕式に於ける次官其他の日本人官吏の行に就き批議の聲高くなれるは尤也

▲臣稱問題は事少なるに似て小にあらず統監政治の威嚴に於ける最も大問題ならん

▲日人官吏にして斯く不甲斐なきに至れは統監政治の振はざる原因也大に戒飭せよ

▲昔は臣と稱するを愧ぢて割腹す今は唯々諾々先じて臣と自稱して得々たりウフ、

▲斯る非愛國家が保護政治に與るに於ては前途甚だ心細し須く革新を斷行すべき也

▲帝國の對清政策は益々味噌を付く交讓的外交は一歩々交讓して將さに倒れんとす

▲清國官憲の暴狀は益々甚しくなれり徐總督は南滿鐵道の行政權撤退を要求し來る

▲吉林省には日本煙草の發賣を中止せりと云ふ何ぞ暴慢も茲に至りては許す可らず

▲帝國の態度にして毅然たらば斯る暴慢はせず弱味に附込むは清國外交の常手段也

▲交讓謙退に附込みて尻押しする某外邊ありとは必ずしも風說のみには非ざるべし

▲北京には威望備はる大政治家を派遣する必要あり相手は唯に清國のみに非ざる也

▲清國外交に就ても對韓策を顧との必要あり優柔交讓は到底効を奏する能ざる明也

▲近來獨棲者頻に增加せりと云ふ是何の原因ぞ惟ふに生活難は其重なる原因ならん

▲日本の富の分配も飛々懸殊的となる從て社會主義者も獨棲者も增加し來るべき也

### ●第二次統監府統計年報

「土地」「氣象」「戸口」「教育」「社寺教會」「警察」「監獄」「裁判」「銀行及金融」「貿易」「產業」「鐵道」「水運」「通信」「衛生」「慈惠及救濟」「恩賞」「財政」「官吏」の十九項に分ち何れも正確にして緻密韓國最近の統計は一目の下瞭然として恰も物を掌に指すが如し一般世人の參考として是非とも坐右に備ふるの必要あり(統監府文書課編纂)

東京電報

### ▲水產所長協議

本日より全國水產講習所長及び同支所長は農商務省に協議を開く其問題の中日本海漁業發達方法關東州及び沿海州に於ける出漁者の成績及び將來の見込等なり

### ▲浦鹽近海解氷

浦鹽近海解氷し流氷危險なるにより同地官憲は夜間の航行を禁止せり(以上十一日發)

### ●北韓牛疫と出張所

咸北の牛疫は目下稍沈靜に歸しつゝある由し其病毒を咸北に傳ふるを以て韓國政府は間島に牛疫豫防機關を設け常に獸醫二名を配置して病源を驅逐すべしといふ

### ●閔宮相と閔泳瓚

[illegible]たる前駐佛公使閔泳瓚氏を去る八日午後七時明月館に招待し晩餐を共にしたる由なるか尚閔泳瓚氏は忠正公閔泳煥氏の實弟にして閔宮相の伯父なりと

### ●一千號祝賀と改題

平壤新報は今十三日一千號に達せしを以て此の機を利用し從來に於ける內部の組織を一變すると共に平壤日々新聞と改題し祝賀の宴を催すとの事なり

### ●排日新聞發賣禁止

桑港在留韓人の發行に係る新韓民報第百二十三號及布哇在留韓人の發行に係る新韓國報第四號は共に治安を妨害するものと認められ前者は八日後者は十日內部大臣より其發賣を禁止されたり

東京電報

▲水産所長協議 本日より全國水産試驗所長及び同技手所長は農商務省に協議を開く其問題の中日本海漁業發達方法關東州及び沿海州に於ける出漁者の成績及び將來の見込等あり

▲浦鹽近海解氷 浦鹽近海解氷し流氷危險なるにより同地官憲は夜間の航行を禁止せり(以上十二日發)

●北韓牛疫ご出張所 咸北の牛疫は目下稍沈靜に歸しつゝある由なれども其病毒を咸北に傳ふるを以て韓國政府は間島に牛疫豫防機關を設け常に獸醫二名を配置して病源を絶滅すべしといふ

●閔宮相ご閔泳瓚 閔宮相は前駐佛公使閔泳瓚氏を去る八日午後七時明月館に招待して晩餐を共にしたる由なるが尚閔泳瓚氏は忠正公閔泳煥氏の實弟にして閔宮相の伯父なりと

●一千號祝賀ご改題 大韓新報は去る十三日一千號に達せしを以て此の機を利用し從來に於ける内部の組織を一變すると共に新聞を改題し祝賀の宴を催すとの事なり

●排日新聞發賣禁止 桑港在留韓人の發行に係る新韓民報第百十三號及布哇在留韓人の發行に係る新韓國報第四號は共に治安を妨害するものと認められ前者は八日後者は十日内部大臣より其發賣を禁止されたり

・京城居留民團公文

京城居留民團告示第七號
當職東京市へ出張中ノ處去ル十日歸任セリ
明治四十二年四月十二日
京城居留民團民長 熊谷頼太郎

# 雜報

## ●朝鮮の質屋業(二)

▲對韓人質屋業

不景氣の最極點に達した今日の質屋業は前述の次第であつて迚も話しにならないけれど今後の順潮を待ち或商業の傍ら副產業としたならば決して惡くはあるまい然しながら對韓人質屋業として立たんとならば必ず左の數項に熟せねばならぬ

一、韓語に通せざる可からず
二、韓國商品の精粗及び其價格に明かならざる可からず
三、韓國各地の習慣風俗に通せざる可らず
四、韓國に於ける氣候の激變に注意せざる可からず

自分に韓語が不案内であつても通辯さへ雇ひ入るれば差支へないやうなものゝ實際通辯の爲めに胡魔化されて大損失を招く事がある又韓國固有の商品例へばマングン、プジヤン、玉眼鏡、帽、靴、食器衣類等の善惡及び其價格が解らなかつたならば損失を招くは云ふまでもない又韓國各地の習慣風俗は我邦と同じく何れも多少の相違があつて夫れと同時に衣服什器裝飾品等の用ひ方にも亦多少の相違がある若し慶尙道より來た旅客の或る物品(當地人の好尙に適せざる)を當地のものと同樣の價格に取つたならば忽ち損失を招くは分り切つた話である又我邦の氣候は所謂中帶の地であつて四季に非常の激變がないから其衣類が四季の差別あるとしても大概冬のものも夏に用ひられ夏のものも冬に用ひらるゝと云ふ風であるが韓國は氣候の變遷甚だしく殆んど夏冬の二季に分たるゝと云ふ程であるから夏物と冬物とは木綿と金巾を除くの外全く其種類を異にして居る夫れであるから夏季に冬物を流されたならば二束三文に賣飛さゝる限り十月頃夏物を流されたならば來年の六月まで持越さねばならぬ此場合に處する質屋は須らく當季までの利息を控除して之を取るか左なくば當季までに他の貸付に充用し夫丈けの金利を收得し得べき程度に於て之を賣飛ばすかの二つにある又食器の如きも夏季は多く陶器製の物を用ひ冬季は多く金屬製の物を用ふる事になつて居るから隨つて其價格も夏季と冬季とは大分の相違がある

## ●床屋の主婦(二)

▲菩薩か夜叉か

斯と聞きたる忩一は之れこそ勿怪の幸なりと打ち喜び早速れフチの實父と面會してれフチ離緣の談判を持ち掛けたるに案ずるよりは產むに易く二三の條件を取交はしたるのみにて愈々れフチを離緣する事となりぬ然れども元來が不貞腐れの向ふ見ずの婦人なれば何時如何なる事をば仕出かすやも計られずと忩一はれフチの實父に迫りて次の如き證書を書かしめたりき「今般娘フチなる者引取申候事實正也然る上は此の後に於て貴殿宅へ一足たりとも踏み込ませ申間敷事を保證す後日のため保證人立會の上右契約書一札如件 明治四十二年三月二十八日 京城南大門外資來町右父箱井呂之助印 保證人京城花園町神頭俗太郎印 京城本町川上忩一殿」と之れにて漸く床屋の紛擾一件も事濟みとなりたるやうなれど濟まぬは互の胸の中にて其後箱井呂之助より忩一に宛てゝ送りたる書狀(前畧)以後藤子を御貴家へ足踏みさせぬやうにと貴殿の御言葉ありし故不得已如斯相定め候得共藤子の理●油(理由か)不安心に付其件警察署に御願申候故可然御承知相成度右及御通知候也」とあるが如く實父に於てもれふちを引取るとは不本意なりしなるべく倘ほれふちに於ても幾分未練のある事とて呪ひの五寸釘ならいざ知らず髮剃り逆手に荒れ込みもしかねまじく思はるゝにぞ素より憶病の忩一は安き心もなかりけるが茲に忩一の從妹にて近藤さよ(二六)といふ男勝りの婦人あり協同組渡邊某の隱くし妻なりしが仔細ありて離緣の今日此頃しげ〳〵と忩一を訪ねては炊事の手傳ひより洗濯物に至るまで何呉れと心を配れば知らぬ他人の他處目には寔ど後妻とも思はれたるべし

▲當夜の摸樣 峰一は當夜午後十時頃漂然としてうたを訪づれ來りしが直ちに二階に上りてうたに向ひ「私は此度遠方へ行くことになつたから汝れ前は辛抱して借金を早く支拂ひて歸るやうにして呉れ」と云ひたるまゝビール一本を飲んで寢に就きしが翌朝七時頃に到りうたが起床すると室の隅に水を入れたるコップの置きあるより之は何ものとも知らず渴せるまゝに一杯飲み掛けたるが非常の苦味を感ずるより直ちに吐き出して口を洗ひ「何ですか」と尋ねたるに峰一は「それはウヰスキーだ」と答へて自から其の半分ばかしを飲みたるが其內うたは矢庭に眠りを催したるより床の上に横

本年一月の頃ウタを伴ひて龍山に來りしも生憎く適當なる仕事も見付からざるより荏苒として日を送るうち藥より多額の金を所持せしと云ふにあらねば何時しか所持金も費ひ果して今は早や下宿料にも差支を生じ來りたるより相談の結果うたは再び京城長谷川町三丁目十六番戶の一東屋乘松本造方に酌婦として雇はるゝ事となりぬ

●毒藥往生を遂ぐ

情婦を慕ふて大邱より言ひ出し兼て一人心中

一昨日午前二時十分長谷川町二丁目十六番戶の一東屋事乘松本造方に於て原籍山口縣玖珂郡井津町五百〇三番地平民末吉長男當時大邱本町一丁目居住國行峯一(三〇)が毒藥モルヒチを仰いで自殺を遂げたる顚末を記るさんに

▲同人の身上 同人は昨年六月の頃大邱本町料理店敷島樓の抱酌婦原籍長崎縣下縣郡大船越村字大村平民村松友治郎二女村松ウタ(十九)と馴れ染め結局同年十二月十三日三十五圓にてウタを落籍したるも家庭嚴重にして到底同棲の見込み覺束なき處より

んものと思ひ一昨日同人宅を訪づれたるも不在の故を以て同家族より斷はられたるより落膽のあまり此世を果敢なみたるものか直ちに同人宅の藥室に驅け込むより早く劇藥昇汞を取り出して自殺を計らんとして家人に差止められ其儘其筋に同行せられて嚴重に訓戒の上放還せられたり

はりざま何となくウト〳〵仕掛けたる折しも峯一の咽元あたりよりゴー〳〵と異樣なる音の聞こゆるを不審に思ひ起き上り見たるに峯一の顏色は此の時全く蒼白と變じ剩へ唇には黃色の泡をさへ吐き居るより打ち驚きて早速親方に急を告げ醫師よ藥よと騷ぎ廻るうち午前七時に至りて絕息せり

▲同人の遺書 父母及故鄕の友人ども認むべきものに宛てたる遺書三通ありしが何づれも生前に於ける失敗及其後の成行を認めたるものなりき因に同人は當夜情婦たるうたに對して情死を迫らんとして言ひ出でかねたるものゝ如し

●初みどり(翡翠樓の新妓) 魚遊痴史

▲一郎● 年も一郎老ては居るがまだ〳〵全盛りの姥櫻
▲二郎● 何やら誰かにれ顏が二郎むかし懷かし戀のゆめ
▲三郎● 嬉し三郎忘れてなろか初會の御見の其の時を
▲四郎● 花の巷に名乘を揚げて披露目四郎の勇ましき

●靑年の自殺未遂

……劇藥室に驅込む……

福岡縣糸島郡字伊原百二十八番地平民醫師后藤波五郎二男西村正秋(三十)と云ふは去る十日頃釜山より來京南大門通京城旅館に滯在中なりしが先年同人の實父波五郎の藥局生たりし小川末五郎が當地に病院を開き居る由を聞きたれば暫く同人宅に厄介になら

●助平男にれ目玉 櫻井町岩本鶴太郎方同居石工小幡廣次郎(三三)は一昨夜午後十時頃より旭町三丁目洋食天鉄羅屋たちばな事野橋五郎方にて代金九十錢程のものを飮食し顏馴染の吉永カズを招かんとしたるも病氣なればとて應せざるより業を煮やし大盤を擧げて街路を練り步く所を警官に認められてれ目玉を頂戴す

●窃盜未遂の女 香川縣高松市本町十三番地平民熊太郎長女當時京城新町三丁目十四番戶の一大分縣平民人力車夫西中幸之助內緣の妻富永いそ(三七)は窃盜未遂犯人として昨日其筋に引致せらる

●花柳巷談似合の花較べ 右筆者病氣の爲め本日休載

●國風音樂の大會 來る十四日午後六時より京城ホテル(元日本人倶樂部)に於て開催する由其演奏曲目は左の如くなるが當日雨天ならば來る二十一日に延期すべしといふ

一部● 君が代 オルガン、ウアイオリン合奏、黑髮三曲合奏、夕顏ヴアイオリン琴、三絃、尺八合奏、末之契三曲合奏、來賓亂輪舌琴、尺八合奏、四季の眺三曲合奏、荻の露尺八、三絃合奏、休憩中餘興數種
二部● ほたるオルガン、ヴアイオリン、琴合奏、里の曉尺八、三曲合奏、千鳥琴、尺八合奏、磯千鳥三〇合奏、來賓松竹梅三〇合奏夜々の星尺八、三〇合奏、六段會員一同合奏

●演藝● 京城座● 京城座の梅花美團は今尙ほ開演中▲永樂亭●は虎丸一座の浪花節興行中なるも近々西韓方面巡演中の遊七一座が歸來する由▲龍山座●は近々改良美團と稱する新派を迎ゆると▲壽座●の大坂淨瑠璃竹本一昇一座は頗る好人氣なるが今夜の語物は左の如し、此中一昇のれ俊傳兵衞は尤も得意とする處なりと云ふ

布引瀧三段目(定)れ染久松質店の段(小富士)梅野由兵衞長吉殺(園淺)肥後駒下駄四段目(輝美)一の谷三段目(梶登)れ俊傳兵衞堀川の段(一昇)

●壽座の義太夫を聽く 從來韓國に來たりし義太夫團は多く娘太夫にして淨瑠璃の甘さを賞するより寧ろ貌ど愛嬌どを賞るさ云ふ方なりしが、今回壽座に乘込みし竹本一昇一座は從來に比類なき好淨瑠璃たるを失はず一昨夜初日の語物中、定の日吉丸、小富士の志渡寺等共に相應の出來、三枚目輝美の伊勢音頭油屋の段は中々輕妙に語つて大向けなりき、二枚目梶登の日向島は純大阪式にはあらねど隨分古く語り込んだる上音量頗る多く貫目ある語り振りなりき、眞打の一昇は紛れもな

●天氣豫報(自十二日午後六時至十三日午後六時) 南西の風晴後曇

十一日 最高溫度 四八、七 最低溫度 三〇、四 (華氏)

之助と共に眞打の價値を發揮して餘りあり兎に角韓國にては未曾有の好淨瑠璃なり(もの字)

き攝津大掾の門弟にて一昨夜の阿波八は順禮歌の美音に先づ大喝采を博し十郎兵衞の腹も充分心得させ然に「マ一度顏をど引寄せ」ての運り得も言はれぬ甘味ありて大に當摺連を惚らしめたり、尙ほ娘義太夫團體ご三味線龍太郎とは共に年少なるも非凡の技倆を有し一座の白眉とも云ふべく又助六の糸は一昇の淨瑠璃と共に眞打の價値を

新燃料 徳用 無烟煉炭
●特色 火付易く火力耐久價格低廉
●用途 湯鑵、暖爐、竈用に適す
●周防徳山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場
京城南國領事館通 電話六〇三番 巴商會
韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

▲無料紹介欄▼

人事部
●十三歳より十八歳迄の見習弟子一名雇入れたし 明治町 中尾軍刀店(二一六)
英語教授 實用會話、作文、讀書力の養成を希望の者何時にても入所を許す(但し午后七時より初む) 大和町二丁目六十八 英語研究所(二一七)
下女至急入用 廿四五歳より四十歳位迄給料十圓まで 氏名在社(二一八)
新内教授致します 京城壽町三丁目 水津(二一九)
女中入用 裁縫の心得ある者廿五歳以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町勸賣所(二二〇)
清語通譯 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

物件部
電話貸したし 氏名在社(二二三)
電話買りたし 氏名在社(二二四)
自轉車一臺買受たし 氏名在社(二二二)
電話格安に讓りたし 社内 中村
床屋讓渡したし 氏名在社(二二二)

廣告

裁縫專門 和洋料理 教授
明治町二丁目百三十一番戸 野村サワ子
希望御望の方には郵券二錢被下候 得者直に御送付可仕候

松丸太、輕便レール枕木各種荷着
御用の方は御一報次第店員御伺ひ申候
京城南大門外屯之坊葛月里
日韓物産商會 小曾根鎌造

電話九百〇二番
內科 婦人科 外科
電話九百〇二番
富久尾病院
京城旭町二丁目

電話開通 九九〇
京城大和町二丁目 青雲亭

待合 太花
京城南山町一丁目病院前 電話一〇二五番


大勉强賣出し
拜啓漸く春暖の候に趣き候折柄大方の各位益々御清祥奉賀候降て弊店儀皆々様の御引立により日増しに隆盛に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬ひん爲め破格の大廉價を以て販賣可致候間何卒御用命被仰付度偏に奉希上候
並に修繕等も御持參下され候へば精々勉强致し其の上クリーム一個宛進呈仕候
京城本町理事廳前 富田製靴本店
同 本町六丁目 同 第一支店
同 南大門外 同 第二支店

一金口貰空箱買入れ申候
但百本入に限る
●廢物利用●
上等金口トルコ貰發賣所
京城本町四丁目 パ子リス商會

大塚商會製石鹸
最近の學理に基き實驗と獨特の技術に因り舶來品に優る各種石鹸製造仕候間多少に不拘御用命被下度希上候

名譽金牌受領
花の露石鹸

海外發賣元
臺灣臺北 大塚商會臺北支店
韓國仁川本町 大塚仁川支店
同釜山南濱町 大塚釜山出張所
同平壤大和町 大塚平壤出張所
清國大連吉野町 大塚大連出張所
同安東縣新市街 大塚安東縣出張所
同奉天 大塚奉天出張所
小樽港町 大塚小樽出張所

製造發賣元
大塚商會石鹸部
大阪市北區上福島北一丁目
(電話西一九五七番)
(振替貯金口座大阪一五二七番)

最近新形
インデペンデンス

甲革ハ柔軟ニシテ丈夫ナルクローム製Aボックスカーフ 深ゴム靴同價
▲慶應義塾學生諸君ノ御用品▼
今般製出ヲ増加シ一般ノ御需用ニ應ジ候
慶應義塾御用
東京市芝區愛宕下町四丁目
龜田靴商店
振替貯金口座四二七八番
電話新橋三四〇二番

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗
G.D.印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
仁川本町一丁目
直輸入元 トルコ煙草商會
電話(七一五番)

電話開通九三八番
京城南山町四丁目 花月樓筋向ふ
作野香清園茶舖

電話開通 牛豚雞肉
一〇四二
京城明治町一丁目
石田精肉店

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災保險會社
●京城代辨店 山口吳服店 電話九番
●事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

電話開通
九五五番
生蕎麥
壽町三丁目
東京庵

電話開通
九六九番
疊替新調表
京城壽町三丁目(壽座前)
横井疊店

直輸入品
リノリーム各種
リノリ油類
右到着仕候間御用命下され度候
京城支那領事館通り
清韓洋行
(電話四九四番)

電話開通
千五十番
京城本町一丁目(民團役所前)
増本好三郎事務所

精良石油賣出廣告
旗票石油は
光力強度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

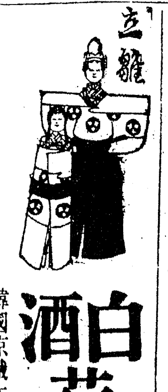

各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候陳者弊社今般當國に設け旗票と稱する最上等石油を輸入し精々廉價にて販賣致し試用御試の上御需求の程偏に奉願候 敬白
ライジングサン石油株式會社
韓國出張所

特約販賣店
仁川本町四丁目 仁川英油組合
仁川海岸通二丁目
釜山本町二丁目 釜山英油組合
京城本町三丁目 京城英油組合

▣萬 へ 大
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、◎精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

假營業所廣告
弊店儀今般改築に着手致候間普請中筋向へ林田交換所内に於て假營業仕候間不相變御愛顧御用命の程奉冀上候
追て電話六十五番を當分使用致候
京城本町二丁目
各國時計並に美術品 商田中時計店

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれは皆々様方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御愛顧の程願上り候
すし、うなぎ 御料理、山遊折詰
明治町一丁目
松善

立雛

Ⓗ
白酒荷着仕候
韓國京城本町四丁目
前田商店
(電話百三十七番)

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路
▲懇切の下宿▼
(元花屋跡)
かめ屋


仁川宅支店

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
仁川海岸通 貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番

●大連行(船客御斷)
新潟丸 日正午時出
●釜山長崎門司神戸行
山東丸 四月 日後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 四月廿二日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山城丸 月 日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 四月 日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 四月 日午後

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事
注意

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金五十錢 ▲三ヶ月金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵稅一ヶ月 拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
京城西門内 京城新報社
電話六六三番